

# 学校だより

# 「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

# 翔 空

No. 42 平成24年 2月 29日 (水)  
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限らない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

## 【この季節にあった漢詩】

爆睡して寝坊したときの言い訳によく使われる「春眠暁を覚えず」のもとになった漢詩をご存じですか。今回は、古典と言っても、漢詩を読み下した形で紹介しましょう。

### 『春 眠』

春眠暁を覚えず  
処処に啼鳥を聞く  
夜来 風雨の声  
花落つること  
知る多少

(しゅんみんあかつきを おぼえず。しよしよにていちょうをきく。やらいふううのこえ。はなおつることしるたしょう。)

作者孟浩然によるこの詩の意味は、「春は眠くて夜明けも気づかない。あちこちで鳥が啼き、夜中に風雨の音が聞こえた。どれだけ花が散ったであろうか。」といったものですが、暖かい布団の中で夢うつつの気分でも心地よいものですねえ。もうすぐ春です。別れがあり、出会いがあります。

※ どうですか。漢詩も味わい深いでしょう。



## 「兎に角、まずはやってみる」 ～何よりも体験することが大切！～

いきなりですが、最近巷で多くささやかれるのが、体験活動の大切さです。口先ばかりでなく、いっしょにやってみるという経験が、就職活動においても、どのようないままでの履歴や体験をしてきたかを詳細に問われるとい大変なことです。彼女は、何と就活で40枚ほどの履歴書を書き、面接も多数行ったそうです。体験活動の大切さをうまく表現したものとして、サトウ・ハチロー氏の「からだでおぼえたものはなれない」という詩があります。

手でおぼえる 足でさとる  
目にやきつける 胸にしみこます

(中略)  
からだでおぼえたものは  
からだからはなれない  
はなれない

この詩からは、からだ全体で体験したことは、離れずに心に染み透ることを知ることができます。この詩で思い出しました。ある教授が、数学の勉強にたとえて次のようなことを言っております。

- I hear, and I forget. 聞くだけでは忘れる
- I see, and I remember. 見ると記憶に残る
- I do, and I understand. やってみてよくわかる
- I use, and I appreciate. 使ってみて初めて真に理解する

この格言は、「わかる」過程を簡潔に言い表してあります。「わかる」には複数のレベルがあるのですが、最後の「I appreciate.」に至って初めて深い理解に達するわけですね。算数で言うなら、計算ができてからだけでなく、その計算の意味を理解し、使ってきたありがたみのわかる段階まで進み、深く理解した段階が最後の4つめなのです。

先日、ある人と高校入試の勉強について話をし、ていふと思いついたのが今回の話題でした。本実、中学校では、生徒会総会と3年生を送る会を1日、実施しました。3年生にとって最後の最大の関門(県立入試Ⅱ期)があと約1週間と迫り、追い詰められています。最後の本人にやるべきことを、周囲の大人が、やっとならぬよう、精神的なサポートを、ぜひお願いします。



◇ カウントダウン→ 入試はあと8日、卒業式はあと13日です。